



人、水、環境の未来へ

人と水とを技術でつなぐ

マエザワは過去、現在、そして未来の「つなぐ」を技術で支えています。

当社は、人々の生活に必要不可欠な「水」に特化した企業として、
普段多くの人の目には留まりづらくも、欠かすことの出来ない
生活のライフラインを支え続けてきました。

経営理念の一つでもある

「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する」という想いのもと、
人々の住環境の整備・改善を目指して多彩な製品の開発・製造・販売に取り組んでおります。

上水道関連製品



蛇口をひねれば水が出る、そんな「当たり前」を守るため。私たちの家に水が届き、利用するまでをつなげる製品群です。

下水道関連製品



日常生活を営むうえで、目を背ける事は出来ない生活排水。使った水を正しく流し、適切に処理し地球に還すまでをつなぐ製品群です。

水処理関連



工場などで排出される産業排水の処理施設や、リサイクルシステムの設計・工事・維持管理などを行っており、綺麗な水環境を次世代につないでいます。

Our Product

私たちの製品は
戸建てや集合住宅に限らず、
公共の上・下水道の社会インフラや
商業施設などにも幅広く
使用されています。

その他の製品



工業プラント用の樹脂バルブや防災・災害対策関連など、幅広い分野で水の「つなぐ」を実現しています。

マエザワ

経営理念

- 一、人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する。
- 一、創意工夫し、知恵を出し、感性を磨き、提案開発型企业として発展する。
- 一、すべてをプラスに考え、前向きに行動する。
- 一、素直な心で、あらゆることに感謝する。
- 一、自然を愛し、人を大切にする。

三現主義



「真実は現場にある」

前澤化成工業のDNAに刻み込まれている、

「現場へ行き」「現物を見て」「現実を知る」という三現主義のもと、

お客様のニーズを実現化する【研究開発力】

品質や生産性・コスト・環境といった課題を解決する【技術力】

顧客満足度第一を信条に、地域に根差す【営業力】

これら三つの力を密に連携させることで、

お客様に喜んでいただける、安心・安全な製品づくりを追求しております。

沿革

当社は、日本における水分野のパイオニアです



1954年
7月15日付
日刊工業新聞掲載

1954年、業界に先駆けて「水道用硬質塩化ビニル継手」を日本で初めて製造しました。この製品は家庭の蛇口まで水を運ぶために水道管と水道管を連結するものです。品質次第で水道管全体の性能を変えてしまうほど、重要な役割を果たしています。

- 1954 前澤バルブ工業株式会社(現 前澤工業株式会社)の樹脂部門が独立し、東京都中央区日本橋室町に硬質エンビ工業株式会社を設立
- 1961 商号を前澤化成工業株式会社に変更
- 1969 埼玉県大里郡妻沼町(現 熊谷市)に妻沼工場を開設
- 1999 品質マネジメントシステム「ISO9001」を認証取得
- 2002 埼玉県妻沼工業団地内に「妻沼第二工場」を開設
環境マネジメントシステム「ISO14001」を認証取得
- 2005 妻沼第二工場増設、「熊谷第一・第二工場」に名称変更
- 2008 共和成型株式会社(現 株式会社新潟成型)の株式を90%取得し、連結子会社とする
- 2013 連結子会社「株式会社新潟成型」を100%子会社化
- 2015 「熊谷第一工場」新棟開設
- 2022 本店を東京都中央区日本橋小網町に移転
- 2022 常陽水道工業株式会社の株式を91.93%取得し、連結子会社とする

Top Message



「人、水、環境の未来」 サステナブルな社会に向けて

私たちは、
1954年、日本ではじめて、無可塑剤成型による水道用硬質塩化ビニル継手の開発に成功し、販売を開始いたしました。
以来、経営理念の一つである
「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する。」という想いのもと、
上水道・下水道の分野に軸足を定め、様々な製品を世に送り続けております。

昨今、気候変動リスクの高まりを受け、
地球全体で温暖化に対する意識が高まっており、
SDGs、脱炭素といった「環境との調和」「持続可能性」が大きな社会テーマになっております。
企業活動においても、
ESG（環境・社会・ガバナンス）経営がキーワードになるなど、
企業価値の向上に向けた取り組みにおいて、環境問題は重みを増しつつあるといえます。

私たちは、
こうした環境の変化に対しても真摯に向き合い、
人的資本への成長投資を行いながら、
水環境のライフラインを支え続けてきたノウハウをいかし、
豊かで快適な住環境に繋がる住環境改善製品の開発、
治水・水害などの防災・減災関連製品の開発、
そして、
永年培ってきた成形技術を用いた、これらの製品群の製造・販売を通じて、
みなさまの生活を支える製品をお届けしてまいります。

私たちは、
これからも、みなさまに必要とされる企業であり続けたいと願い、
持続的に成長・発展する企業として「人、水、環境の未来」の創造に取り組んでまいります。
今後とも変わらぬご厚誼を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025.04.01

代表取締役

A stylized handwritten signature in black ink, consisting of several fluid, connected strokes.

グループ会社案内

新潟成型



名 称	株式会社新潟成型
事 業 内 容	プラスチック製品の 製造・販売
本社所在地	新潟県燕市分水向陽7-4
設 立	1971年9月18日
資 本 金	88,000,000円

新潟成型は、古くから「ものづくりのまち」として有名な新潟県燕市に本社・工場を構え、1971年の創業以来、プラスチック成形一筋の確かな技術力と豊富な生産設備を取り揃え、日々お客様の多種多様な要望にお応えしてまいりました。2008年1月に株式の90%を取得し当社の連結子会社となって以降、2013年2月に残りの株式を取得し完全子会社となりました。当社グループの一員となってからは、互いにシナジーを取り込みつつ、「独自のプラスチック成形技術を確認し、日本のものづくりに貢献する」という経営理念のもと、日々新たなものづくりに取り組んでおります。

常陽水道工業



名 称	常陽水道工業株式会社
事 業 内 容	給排水衛生設備や農業用排水の ポンププラントなどの各種工事
本社所在地	茨城県土浦市文京町18-28
設 立	1962年7月26日
資 本 金	50,000,000円

常陽水道工業は、1958年の創業以来、茨城県を基盤として地域に根差した事業展開を行ってまいりました。60年を超える永い業歴の中で培ってきた品質の高い施工力・施工管理能力などによって、各種公共工事に強みを持ち、主に給排水衛生設備や農業用排水のポンププラント工事等を通じて、地域社会の発展に重要な役割を担っております。2022年10月に株式の91.93%を取得し当社の連結子会社となってからは、お互いの技術・ノウハウの融合を図りながら、「水・環境エンジニアリング」セグメントの更なる成長を実現すべく、共に歩みを進めております。

管工機材セグメント

私たちの生活は、一見すると目立たない壁の中や地面の下に存在するライフラインに支えられており、我々が豊かに、安全に、快適に暮らすことが出来るのはこれらの社会インフラのおかげです。1954年に業界に先駆けて開発した「水道用硬質塩化ビニル継手」を世に送り出して以来、主に戸建住宅の水回りに関連した上・下水道関連製品の製造・販売によって人々の「日々の当たり前」を支え続けております。お客様の要望を的確に汲み取ることでこれまでに開発してきた製品は2万点を超えるなど、創業してから今もなお当社グループの事業の柱を担っています。また、近年では「戸建住宅分野」製品のみならず、「ビル設備分野」製品の開発・製造・販売にも力を入れており、「人々をゆたかにする心と技術をはぐくみ、社会のために幸せを創造する」という経営理念のもと、住環境の更なる発展と改善に努めております。



各種プラスチック成形セグメント

現代社会においてプラスチックは様々な用途・場所で使われており、日々の生活には欠かせないものとなっております。当セグメントが展開する各種プラスチック成形事業につきましては、コストダウンや軽量化、複雑な形状をした成形品の製造依頼などお客様からの様々なご要望にお応えするため、技術の研鑽と生産の合理化を追求してまいりました。受注生産を行っている取り扱い製品は、住宅設備、家電、医療、水回り、建材関係など多岐にわたりますが、180tから3,500tの小型から超大型の各種射出成形機を取り揃え、成形規模に応じた量産設備ラインを有していることで、これらの幅広い生産ニーズへの対応が可能となります。また、近年では自社製品の開発にも注力しており、新しい事業分野の開拓にも取り組んでおります。



水・環境エンジニアリングセグメント

企業の生産活動やサービスは私たちの生活を豊かなものに行っている一方で、工場の製造過程などによって生じる排水を適切に処理することは企業にとっても、地球環境にとっても重要な課題です。当セグメントでは、主に民間の食品工場を中心に「業務の効率化」と「環境保護」を目的とした多様な水処理システムの提案・施工を行うとともに、水処理の技術をおとして、環境負荷低減に向けた取り組みを行ってまいりました。また、2022年10月には、公共事業に強みをもつ常陽水道工業株式会社が当社グループに加わり、同セグメントの強化を図りました。今後は、環境問題をはじめとした社会的課題の解決に水処理等の技術をおとして貢献するとともに、当セグメントを「第2の柱となる事業」として成長させることを視野に取り組んでまいります。



暮らしのなかのMAEZAWA

直接目にふれることは少ないけれど、
皆様の生活をつなぎ・支え続けている前澤化成工業の製品群です。

上水道関連製品



水道用硬質塩化ビニル管・継手

耐食・耐久性に優れた水道用のパイプ、そしてそれらを接続する継手です。



量水器ボックス

水道用計量メーター等を保護、収納する埋設ボックスです。



水栓柱・水栓バン

デザイン性とコストパフォーマンスに優れた家庭用の水栓地上ユニットです。

その他



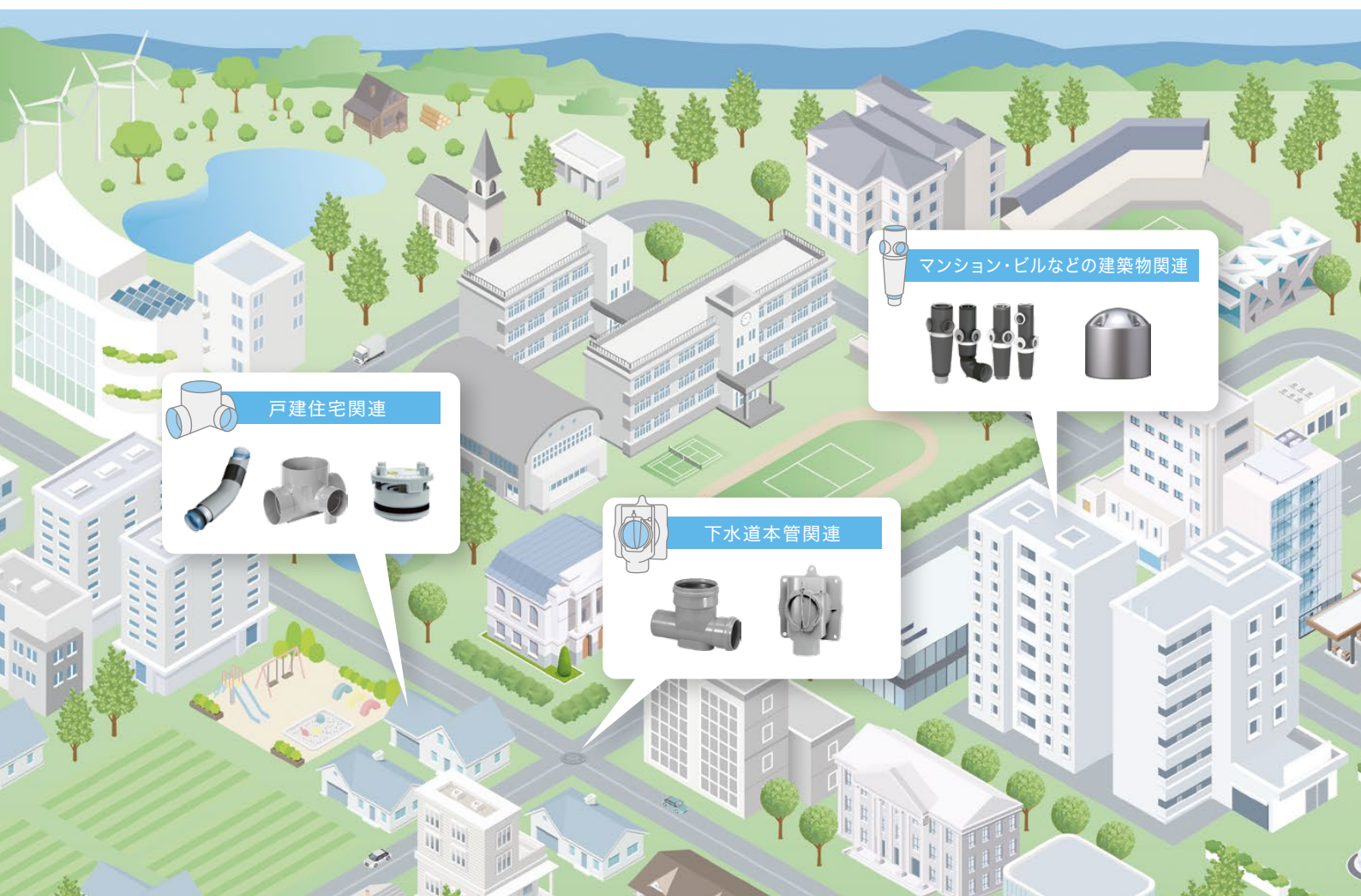
プラント用樹脂製バルブ

化学プラントをはじめとする施設向けのバルブです。



グリーストラップ

飲食店などの業務用排水の油脂分と水を分離する装置です。



戸建住宅関連



マンション・ビルなどの建築物関連



下水道本管関連



下水道関連製品



排水用吸気弁

排水管内に空気を取り込む事で管内の負圧を解消し、スムーズな排水を実現するための器具です。



樹脂製単管式排水システム ビニコア

マンション・ビルなどの通気と汚水・雑排水を一本の排水管で処理するシステムです。樹脂製で優れた排水性・遮音性・施工性を実現しています。



遮音パイプ・遮音継手

壁の中、床の下などを流れる排水の音を低減するためのパイプ・継手です。



基礎貫通スリーブ

排水管や給水管などを後から通すために、建物のコンクリート基礎等にあらかじめスリーブ管を設置するための部材です。



ビンヘッダー

建物の床下でトイレや台所などの排水器具からの排水管を合流させ、1本の排水管で屋外の排水設備に接続するための、床下集合配管システムです。

災害対策関連製品



雨水貯留浸透ユニット

都市水害の軽減や水循環のための組み合わせユニットです。



後付け逆流対策弁

ビマスや既設コンクリートマスに取り付けて、豪雨時における下水本管からの排水やエアの逆流を軽減します。



圧力開放蓋

管内圧力を開放することで、排水器具における吹き出しを抑制するためのビマス用の蓋です。

水処理関連システム



排水処理システム

産業排水処理施設などで省スペース施工・安定した処理水排出・ランニングコスト低減を実現します。



ビマス

宅地内污水配管の整備をバックアップする耐食・施工性に優れた排水マスです。



ビノホール

軽量・コンパクトで施工性・耐久性に優れた小型マンホールです。



ビノ内副管

施工性・経済性に優れ、維持管理も便利なコンパクトタイプの内副管マンホール継手です。



雨水マス・雨水浸透マス

効率的な雨水排水整備に貢献する雨水用の排水マスです。

PICK UP

製品紹介

前澤化成工業では、住宅・建築の外観をコーディネートする【エクステリア分野】
マンション・ビル配管などをターゲットとした【ビル設備分野】
これらの分野の製品開発・製造・販売にも力を注いでおります。

エクステリア分野



庭を彩る、心を彩る。

エクステリアをもっと気軽に、もっとおしゃれに。
際立つ個性と彩り豊かなバリエーションで、
庭を彩るエクステリアブランド、MELS[メルス]。



Maezawa Exterior
Land Scape.

上下水道用部材を製造する前澤化成工業株式会社が
提案するデザイン性とコストパフォーマンスを
兼ね備えたエクステリアブランド。

MELS: 給水装置のブランド化、エクステリア分野への参入

LILUGA Series

リラガシリーズ

贅沢な空気漂う、洗練の美しさ。



PALETTE Series

パレットシリーズ(EX柱)

絵の具のように、自分色で彩る。



ビル設備分野

ビニコア: マンション・ビル等の排水設備樹脂化の提案

樹脂製単管式排水システム

ビニコア V-CP V-HQ V-LJ Series

「ビニコア」は、安定した排水性能・遮音性能はもちろんのこと、
施工性においても優れた能力を発揮する新しい樹脂製排水継手です。
中・低層から超高層までの幅広い集合住宅に対応します。

Powerful & Silent & Workability

3つの軸から最適な継手を選択、
ベストな排水環境の構築をサポートします。



豊富なラインナップ

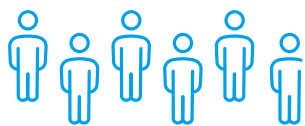


数字で見る



MAEZAWA

従業員数



502人

(2024年3月末 単体)

平均勤続年数



18.6年

月平均所定外
労働時間



8.7時間

有給休暇の平均
取得日数



12.5日

(直近3年間の実績)

育児休業取得者



25人 うち 男性の
取得者9名

(直近3年間の実績)

育児休業
取得後の
復職率



100%

(直近3年間の実績)

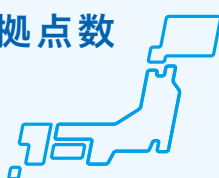
女性の役員割合



11.1%

女性の
管理職割合 **4.9%**

国内拠点数



工場 **2** 拠点

7 支店 **21** 営業所・出張所



品質マネジメントシステム
ISO9001 を認証取得

環境マネジメントシステム
ISO14001 を認証取得

産業財産権

(特許・実用新案・意匠・商標)



244件

(2024年3月期)

研究開発費



3億23百万円

(2024年3月期)

製品総合カタログ
掲載



8,000

アイテム以上

(2024年3月末)

SUSTAINABILITY

サステナビリティへの取り組み

私たちの考えるサステナビリティとは、「人」と「水」、そして「環境」の調和を通じて未来を創造することにあります。

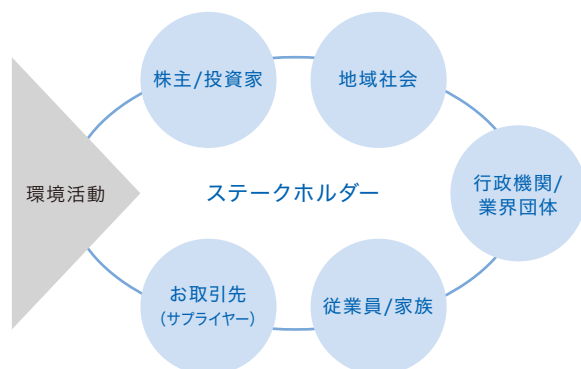
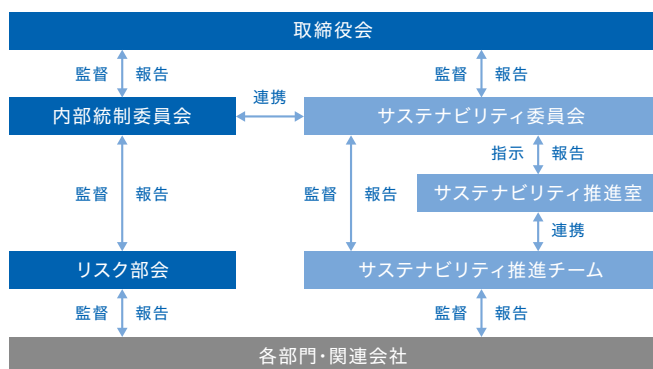
環境保全の担い手であることを自覚し、製品の開発・製造・販売に係るすべての事業活動において環境負荷低減を強く意識し、様々な価値観を共有する豊かな社会を実現するためにダイバーシティ推進や、地域社会との共生活動に取り組んでおります。



サステナビリティ推進体制

サステナビリティの取り組みを進めるため、気候関連リスク等、サステナビリティ課題の評価と対策に責任を有するサステナビリティ委員会を設置しています。当委員会は、代表取締役社長を委員長とし、サステナビリティ活動方針の策定や各種取組みの目標設定、KPIの進捗状況の確認を行います。各事業部に配置されるサステナビリティ推進チームの活動状況については、当委員会を通じて取締役会が報告を受け、監督する体制を採用しております。

体制図



TCFDに基づく情報開示

TCFD提言は、気候変動に伴うリスクと機会が財務を含む会社経営にどのような影響を及ぼすかを的確に把握すべく4つの開示要素である「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」に沿って情報開示することを推奨しています。当社は、TCFD提言が求める4つの情報開示項目に基づいた情報開示の更なる拡充に取り組んでおります。



具体的な取り組み



環境負荷低減

「自然エネルギーの有効活用」

環境負荷低減への取り組みとして、太陽光発電設備の導入や自然採光の取入れなど、自然エネルギーを用いることで、CO₂の削減に積極的に努めております。また、廃棄物の減量化や冷却水の循環再利用、リサイクルの推進も実施しており、地球環境に優しい生産工場を目指しております。



ダイバーシティ推進

「なないる農園」

ダイバーシティを推進し、従業員ひとりひとりが働きやすく、活躍できる職場づくりを進めております。ダイバーシティ推進の一環として、一般就労にハードルのある方が、社会との接点を持ちながらやりがいを持って働ける農場（なないる農園）を千葉県船橋市で運営しております。



地域社会との共生

「青下の杜プロジェクト」

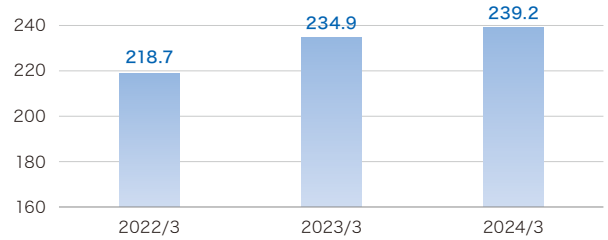
青下の杜プロジェクトは、官民連携の水源保全プロジェクトです。私たちは、「水源を守り安全でおいしい水道水を供給する」という本プロジェクトの趣旨に賛同し、仙台市の大切な水道水源のひとつである「青下水源地」の保全に取り組んでおります。

会社概要

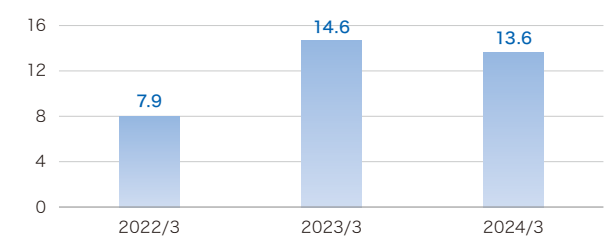
商号	前澤化成工業株式会社
	(英文名)MAEZAWA KASEI INDUSTRIES CO.,LTD.
創業	1937年7月15日
設立	1954年12月10日
資本金	33億8,730万円
売上高	239億25百万円(2024年3月期 連結)
株式公開	東京証券取引所プライム市場
代表者	田中 理
従業員数	567名(2024年3月期 連結)
事業内容	上・下水道関連製品及び環境機器製品の製造・販売
当社グループ	株式会社新潟成型 常陽水道工業株式会社

業績推移

売上高(億円)



親会社株主に帰属する当期純利益(億円)



全国に広がるネットワーク

本社	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-10 日本橋小網町スクエアビル TEL:03-5962-0711(代) FAX:03-5695-0161	関西支店 大阪営業所	〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-3-9 田村駒ビル TEL:06-6268-0071(代) FAX:06-6268-0072
北日本支店 仙台営業所	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング TEL:022-748-4288(代) FAX:022-748-4366	神戸営業所	〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町83 三宮センチュリービル TEL:078-393-0071(代) FAX:078-393-0072
北海道営業所	〒060-0051 北海道札幌市中央区南一条東1-3 パークイースト札幌 TEL:011-221-6177(代) FAX:011-221-6498	沖縄出張所	〒902-0068 沖縄県那覇市真嘉比3-4-34 ハイツ蔵 TEL:098-885-9697(代) FAX:098-885-9818
盛岡営業所	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通15-20 東日本不動産盛岡駅前ビル TEL:019-625-8466(代) FAX:019-625-8469	中国支店 広島営業所	〒730-0805 広島県広島市中区十日市町1-1-9 相生通り鷹匠ビル TEL:082-294-6425(代) FAX:082-294-6428
北関東支店 埼玉営業所	〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町2-20 三井住友海上大宮東町ビル TEL:048-647-8833(代) FAX:048-647-9825	岡山営業所	〒700-0972 岡山県岡山市北区上中野 1-19-51 スタックI TEL:086-245-8655(代) FAX:086-245-8656
北関東営業所	〒371-0024 群馬県前橋市表町2-2-6 前橋ファーストビルディング TEL:027-289-5855(代) FAX:027-289-5856	四国営業所	〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 日進高松ビル TEL:087-811-7511(代) FAX:087-811-7512
新潟営業所	〒950-0088 新潟県新潟市中央区万代4-1-11 太陽生命新潟ビル TEL:025-248-1400(代) FAX:025-248-1414	九州支店 福岡営業所	〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門2-3-11 HTCリハルテ大手門ビル TEL:092-771-7151(代) FAX:092-761-0194
東京支店 東京営業所	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-22-17 日本生命亀戸ビル TEL:03-6807-0668(代) FAX:03-6807-0737	鹿児島出張所	〒892-0847 鹿児島県鹿児島市西千石町11-21 MSビル TEL:099-225-8666(代) FAX:099-225-8667
千葉営業所	〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央3-10-4 マーキュリー千葉 TEL:043-223-6711(代) FAX:043-223-6713	特販営業部	〒136-0071 東京都江東区亀戸2-22-17 日本生命亀戸ビル TEL:03-6807-0744(代) FAX:03-6807-0746
南関東営業所	〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-2-2 OSJ成瀬ビル TEL:042-851-7945(代) FAX:042-851-7982	水環境部	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町17-10 日本橋小網町スクエアビル TEL:03-5962-0714(代) FAX:03-5695-0166
静岡営業所	〒420-0859 静岡県静岡市葵区栄町3-9 朝日生命静岡ビル TEL:054-221-9320(代) FAX:054-221-9325	熊谷第一工場	〒360-0236 埼玉県熊谷市市ノ坪408 TEL:048-588-1331(代) FAX:048-588-5292
中部支店 名古屋営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-9-29 ORE名古屋伏見ビル TEL:052-218-6921(代) FAX:052-218-6920	熊谷第二工場 研究開発本部	〒360-0238 埼玉県熊谷市妻沼西1-1-1 TEL:048-567-1331(代) FAX:048-567-3680
長野出張所	〒390-0813 長野県松本市埋橋1-1-7 あいおいニッセイ同和損保松本ビル TEL:0263-35-3155(代) FAX:0263-35-3225		
北陸営業所	〒921-8051 石川県金沢市黒田1-72 TEL:076-249-1722(代) FAX:076-240-0744		